



とちぎ市議会だより

第43号 (12月定例会)

2020.2.20 発行

今定例会の一般質問では、議会のスムーズな運営のため、台風第19号に関する質問については会派代表形式で行いました。
今後とも、執行部とともに災害からの復旧・復興に向けて全力で取り組みまいります。

復興に向けて 「ONE TEAM」 が チーム

特集

多くの意見をいただきました …… 2

市内施設8カ所を視察 …… 14

11月臨時会を開催 …… 15

付帯決議を可決 …… 5

(12月定例会で決まったこと)

17名の議員が市政を質す …… 6

(一般質問)

表紙写真の説明 …… 15

(意見交換会)

今号では各常任委員会で開催した報告会の内容も併せ、ご参加いただいた皆様からの貴重なご意見の一部を紹介いたします。



皆さんの意見をまとめた提言書については、後日あらためて報告するよ☆

意見交換会のあらまし

- 子育て世代(11月9日)
 - ・会 場：岩舟健康福祉センター
 - ・テーマ：子育てに関する困りごと



子育て世代の主な意見

- ・土日が勤務の場合に子どもを預けられる場所が欲しい。
- ・乳幼児健診などの時間を午前中にしてもらえるとありがたい。
- ・高校生まで医療費の助成を拡大していただくと助かる。
- ・ベビーカーで街中を通るとデコボコして通行が困難なので、フラットにしてほしい。
- ・通学路に街灯が少ないので設置してほしい。

団体や市民の方と意見交換を行いました

産業教育常任委員会

テーマ 部活動指導員の現状について
相手方 中学校部活動指導員の皆さま

主な意見

- ・部活動指導員は微妙な立ち位置なので人材確保は難しいと思う。
- ・現役の先生の受け取り方が柔軟でないと自分たちを受け入れてくれないと思う。
- ・将来的には学校部活動と地域のクラブを切り離していかないと先生の負担は減らない。



建設常任委員会

テーマ 建設業界の担い手不足について
相手方 栃木市電設業協会の皆さま

主な意見

- ・市内には栃木工業高校もあるので、市役所と高校で連携ができればよいと思う。
- ・企業説明会を単体で実施することは難しいので、業界全体でできればよいと考えている。
- ・落札率や技術力の問題もあるが、地元企業を育成していくことも重要だ。



議会 報告会

第9回議会報告会

例年、市内各地で開催している議会報告会は台風第19号の影響で中止とさせていただきますが、大学生世代および子育て世代との意見交換会を11月に開催いたしました。

意見交換会のあらまし

- 大学生世代(11月4日)
 - ・会 場：白鷗大学本キャンパス
 - ・テーマ：若者世代の選挙の投票率



大学生世代の主な意見

- ・選挙に行っても、自分たちの利益にならない。
- ・有権者の意見がきちんと反映されているか実感が湧かない。
- ・普段は議員と話す機会がないので、議員と本音を言い合える場が必要だと感じる。
- ・議員の高齢化が進んでいるので、若い人に投票したいと思う。
- ・議員自らもSNS等を活用して情報発信をしたほうが早いのではないか。

各常任委員会でテーマを決めて、関係する

総務常任委員会

テーマ 栃木市消防団組織の活動状況と課題
相手方 消防団員(女性消防団員含む)の皆さま

主な意見

- ・消防団員の命を守るためにも、資機材等の充実をお願いしたい。
- ・夜間に活動するときなど、強力な照明装置があると助かる。
- ・自主防災組織を設立・強化し、消防団の補完的役割を担っていただけるとありがたい。



民生常任委員会

テーマ 学童保育の現状と課題について
相手方 民間学童保育運営管理者及び学童保育支援員の皆さま

主な意見

- ・学校の情報をいただきたい児童がいるが、どこからどのように情報をいただけるのかわからない。
- ・求人をハローワークに出してもなかなか応募がない。



12月定例会で決まったこと (主な議案等)

12月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。
各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。
下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



より安全でおいしい給食を提供するために

議案第157号 工事請負契約の締結 (吹上小学校給食共同調理場 改築建築工事)

可決 賛成 26 反対 2

議案の概要

- ・ 契約目的 吹上小学校給食共同調理場改築建築工事
- ・ 契約方法 事後審査型条件付き一般競争入札
- ・ 契約金額 2億7302万円
- ・ 契約相手 有限会社 山野井組

質疑

質 配膳室の衛生面と異物混入の対策は

答 通常では冷暖房を完備していないところが多いが、吹上小の配膳室は冷暖房を完備している。安全対策

歴史・文化・芸術を未来へ継承するために

議案第159号 工事請負契約の締結 ((仮称)栃木市文化芸術館 建築工事)

可決 賛成 22 反対 6

議案の概要

- ・ 契約目的 (仮称)栃木市文化芸術館建築工事
- ・ 契約方法 事後審査型条件付き

については、施設がきっちりできる対応を取っている。

質 水害に対する対策は

答 今回の設計において、床の高さを水害時より52センチ上げており、南側の道路面からは1・25メートル上げているので、水害対策については万全を期している。

一般競争入札

・ 契約金額 15億4千万円

- ・ 契約相手 清水・舘野・落合特定建設工事共同企業体

質疑

質 契約を半年延期する考えは

答 本事業は国庫補助対象の工事であり、昨年度に一度見直しをしたため、ぎりぎりの工期となっている。仮契約はしているが、これを延期した場合、相手方にとっていただけるとは限らないので、予定通り進めさせていきたい。

質 契約を1年延期した場合の建設費用の増加見込み額は

答 ここ数年の傾向を見ると1年で3%増えているので、単純に4500万円増額となる可能性がある。



先行して整備が進められている(仮称)文学館

討論 (議案第159号~161号ほか)

賛成

文化芸術館の整備については、平成30年度に設計内容の見直しを行い、整備や維持管理費用の圧縮を図ったところである。

1市5町が合併して誕生した本市にとつて、必要な都市機能のひとつであり、また、仮に整備事業を中止した場合の財政負担や国との信頼関係が崩れかねないことなどを比較考量すると、本案を可決成立させて、建築工事に着手すべきであると判断し、賛成する。

反対

吹上小の学校給食調理場建築工事は、衛生面やアレルギー対策などで期待されている。しかし設備工事落札率が99・29%と極めて高い。また、建築坪単価も全国平均を上回っており、反対である。文化芸術館建築工事は本体工事の落札率が99・93%で入札は1社だけ、工事全体の坪単価は270万円と高額であり、反対する。また、台風第19号の災害復興と被災者支援を最優先するべきであり、着工を遅らせることなどを強く要望する。

本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るため、討論が行われた議案名と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

- ・議案第140号・147号 ●内海まさかず 議員、●白石 幹男 議員 ○天谷 浩明 議員
- ・議案第157号・158号 ●川上 均 議員 ○関口孫一郎 議員
- ・議案第159号～161号 ●内海まさかず 議員、●川上 均 議員 ○天谷 浩明 議員

議案等の審議結果

12月定例会では、議案27件、決議案1件が審査され、その内、全会一致は20件、賛否が分かれた議案等は8件でした。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

なお、内海議員は決議案第2号の採決の際に退席いたしました。

○=賛成、●=反対

番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	25	26	27	28	29	30
			森戸 雅孝	小平 啓佑	浅野 貴之	川上 均	大浦 兼政	古沢 ちい子	大谷 好一	坂東 一敏	青木 一男	茂呂 健市	内海まさかず	小久保かおる	針谷 育造	氏家 晃	入野 登志子	千葉 正弘	白石 幹男	永田 武志	福富 善明	広瀬 義明	関口 孫一郎	針谷 正夫	大阿久 岩人	大阿久 岩人	松本 喜一	小堀 良江	梅澤 米満	福田 裕司	中島 克訓
議案第140号	令和元年度栃木市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第147号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第157号	工事請負契約の締結について(吹上小学校給食共同調理場 改築 建築工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第158号	工事請負契約の締結について(吹上小学校給食共同調理場 改築 機械設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第159号	工事請負契約の締結について((仮称)栃木市文化芸術館 建築工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第160号	工事請負契約の締結について((仮称)栃木市文化芸術館 電気設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第161号	工事請負契約の締結について((仮称)栃木市文化芸術館 機械設備工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議案第2号	議案第159号、議案第160号及び議案第161号工事請負契約の締結((仮称)栃木市文化芸術館)に対する付帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

付帯決議案を提出



賛成24、反対3、棄権1

※付帯決議とは…法的な拘束力は有しませんが、執行部はこれを尊重することが求められます。

議案第159号～161号 工事請負契約の締結((仮称)文化芸術館)に対する付帯決議

- 1 各種事業の実施にあたっては、災害からの復旧支援に影響が出ないよう、費用対効果を十分に検証しながら取り組むこと。
- 2 ((仮称)栃木市文化芸術館)については、建設にあたっては市民の理解を得ながら進めるとともに、次世代に誇れる施設となるよう、管理運営に意を用いること。
- 3 国県等関係機関に対し、継続して財政支援を要請すること。
- 4 持続可能な財政基盤を確立するため、市民の視点に立って行財政改革を着実に推進すること。

【会派代表質問】

創志会

- 福田 裕司 議員
- 茂呂 健市 議員
- 内海まさかず 議員
- 針谷 育造 議員
- 千葉 正弘 議員

ハザードマップ改訂へ

この度の台風第19号による浸水被害は、市のハザードマップで浸水想定区域に指定されていない中小河川や用水路などでも多数発生していた。

浸水被害を検証し、早急な浸水想定区域の見直しと改訂が必要であり、併せて市民への開示が必要であると考えるが、執行部の考えを伺う。

答弁 福田危機管理監

県の浸水想定区域見直し後ハザードマップの改訂作業を進める

この度の台風では、洪水予報河川や水位周知河川の対象となっていない三杉川や赤津川、柏倉川、逆川などの県が管理する中小河川において、決壊や越水、溢水し、ハザードマップで浸水想定区域と

- 栃木市に洪水が一度と起きないまちづくりに向けて
- 河川対策
- 災害復旧に伴う費用と事業見直し

なっていないエリアでの浸水被害が発生した。

今後は、県が浸水想定区域図のない中小河川についても対象河川を選定したうえで、令和2年度内に簡易的な浸水想定区域図を作成することとなったので、その見直しがなされたら、早急に新たなハザードマップの改訂作業を進める。

新たにハザードマップを作成した際には、各世帯へ配布するとともに、本年5月に各地域で実施した説明会と同様、説明会を開催し、広く周知に努めていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



【会派代表質問】

誠心

- 大谷 好一 議員
- 浅野 貴之 議員
- 坂東 一敏 議員
- 天谷 浩明 議員

県当局に対し、河川管理事業の充実強化を陳情すべき

河川が氾濫する可能性を少しでも取り除くため、各河川の河床の浚渫や除草等の管理強化が図られるべきであり、その対応のためにも、河川管理事業費が大幅に増額されることが望ましいのではと考える。

いつもきれいで、水の流れやすい河川環境の整備を図るため、県当局に対し、河川管理事業の充実強化について陳情すべきではと考えるが、執行部の考えを伺う。

答弁 大川市長

安全・安心な河川整備対策について引き続き県に強く要望していく

河川の氾濫を軽減させる取り組みとしては、河床の浚渫等が有効な方法の一つと考えることから、

- 台風19号による被害と今後の対応

これまでも一級河川の管理者である栃木県に対し、土砂の撤去、河川に生えている竹や木の除去など、河川断面の確保のための適正な管理をお願いしてきた。

今回、平成27年の災害を上回る甚大な浸水被害が発生したことから、市民の皆様のご不安等も増していることから、安全・安心な河川整備対策について、引き続き県に強く要望していく。



【会派代表質問】

栃木未来

- 氏家 晃 議員
- 関口孫一郎 議員
- 松本 喜一 議員
- 小堀 良江 議員

河川を改良復旧することで
水害を防ぐ取り組みを

関東・東北豪雨からわずか4年後に、今回の大雨災害が発生した。もはやこのような大雨災害は、いつ起こってもおかしくないと考えらるべきである。

今回の大雨で、市内の複数の河川で大きな被害が出たが、都賀地域の逆川等の中小河川を含め、大雨のたびに被害が出ている河川もある。

現状復旧ではなく、蛇行の改善や川幅の拡幅、護岸の強化等の改良復旧を進めることを強く求める。

答弁 國保建設部長

改良復旧を念頭に置いた対応を
国・県に要望していく

災害復旧事業は、被害箇所を元通りに直す原形復旧が基本となつ

●台風19号による大雨被害とその対応

ているが、河川の改良計画が策定されている場合や、河川形状の不良が原因で災害が発生した場合など、一定の条件のもとで改良復旧を実施することが可能となっている。

平成27年及び今回の災害を考慮すると、今後の災害を防ぐためにも改良復旧を念頭におき、対応を進めていただきたく、県にお願いしているところであり、先日、国にも要望を行ったところである。

今後もあらゆる機会を捉え、改良復旧の採択に向け、国・県に要望していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



【会派代表質問】

公明党議員会

- 小久保かおる 議員
- 古沢ちい子 議員
- 入野登志子 議員

要配慮者の方等に対する
福祉避難所の開設について

福祉施設との災害協定を締結し、福祉避難所の指定を行ったと伺っているが、福祉避難所の設置についてどのように取り組まれたのか。

また、指定避難所において、要配慮者の方等を福祉避難所へ速やかに移動させる方法は、どのようになっているのか伺う。

答弁 福田危機管理監

5施設で8人の方を
福祉避難所として対応した

今回の台風19号では、災害対策基本法に定義されている避難行動要支援者の方が、災害時における応援協力の基本協定に基づき、民間福祉施設等に直接避難したり、指定避難所から移送されたり

- 災害避難所と今後の方針
- 農業被害者支援
- 災害対策本部等の対応

し、5施設で8人の方を福祉避難所として対応したと報告をいただいている。

各指定避難所では常に避難者の健康状態の把握に努め、要配慮者に対しては個々のニーズに応じた対応に努めたところであるが、夜間や天候等の状況により二次災害の恐れが想定されたため、福祉避難所への移送をせずに、指定避難所に対応したケースもあると報告を受けている。



【会派代表質問】

明 政

- 福富 善明 議員
- 青木 一男 議員
- 大阿久岩人 議員

市民に対して、防災意識を高める
取り組みが必要である

台風第19号の教訓として、地域の助け合いや心と心の結びつきが挙げられる。地域住民が交流しながら防災に関する体験を行うなど、減災・防災について学ぶ機会を作ってはどうか。

また、各家庭での防災対策、自主防災組織での防災活動など、市民の防災意識を高める取り組みが必要であると考え、執行部の考えを伺う。

答弁 大川市長

ソフト面での対策が必要であると実感している

今回の台風第19号で市内全域が大規模な被害を受けたため、ハード面での対策を実施していくとともに、改めて市民への防災意識の

●台風19号に関する検証と対策

啓発などのソフト面での対策が必要であると実感している。

今後は、地域としての防災力を高めていくためにも、共助による防災活動を推進し、市内全域に自主防災組織ができるようお願いしていくとともに、見直し後のハザードマップの説明会や出前講座等を通して、自助・共助・公助による命を守る対策をより強固なものとしていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



【会派代表質問】

栃木政策研究会

- 森戸 雅孝 議員
- 小平 啓佑 議員
- 大浦 兼政 議員

公助に頼らない
まちづくりのためには

市長インタビューでのコメントに「市内全域に自主防災組織を作り、災害への意識や命を守る対策を、より強固にしていきたい。」とあるように、公助だけでなく、地元自治会等の協力も必要であると思う。

災害に強いまちづくりとは、日頃から災害に対して、どのような備えができていくかがポイントになると思うが、執行部の見解を伺う。

答弁 大川市長

共助による防災活動の重要性を
地域に広め、意識啓発に努めていく

災害の規模によつては、道路の寸断や救助・救援要請の集中により、公共防災機関による支援等が期待できないことが発生すると思

- 災害発生時の市全体での初動体制と連携
- 災害発生後のシティプロモーション
- 自主防災組織の対応

われる。

このような事態が発生したときに、それぞれの地域で共助による防災活動を展開し、お互いの命や財産を守るためには、身近にいる地域の皆様の協力が重要であると考えている。

今後は、地域としての防災力を高めるためにも、市内全域で自主防災組織ができるよう、各地域や自治会にお願いし、共助による防災活動の重要性を地域の皆様に広めるとともに、研修会や訓練への参加を通して、意識啓発に努めていく。



【会派代表質問】

日本共産党
栃木市議団

- 白石 幹男 議員
- 川上 均 議員

住宅応急修理制度は、被災者の立場に寄り添った対応を

住宅応急修理制度は、修理が完了し、支払いが済んでしまった場合、補助対象にならない。

しかし、この制度の周知が徹底されず、り災証明の発行も遅れている状況の中で、一日も早く住める状態にするために修理をしてしまった被災者も多く、不満がでている。

本来、本制度を利用できたにもかかわらず、対象とならなかった被災者に対して、救済制度を設けるべきだと考えるが、見解を伺う。

答弁 福田危機管理監

市独自の補助金を活用していただきたい

本制度は、災害救助法に基づく制度であり、対象は自らの資力で

- 被害状況
- 避難への対応
- 被災者支援

は応急修理をすることができない者とされていることから、支払いが完了してしまうと制度を利用することができない。

被災された皆様の一日も早い生活再建に向けては、被害を受けた住宅の復旧に要する経費の一部を補助する、市独自の「被災者住宅復旧支援事業費補助金」を活用していただけるよう案内している中で、11月23日より開設した「被災者支援総合窓口」等においてご相談いただきたい。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



【会派代表質問】

弘毅会

- 針谷 正夫 議員
- 中島 克訓 議員

中小河川・支川を含めた流域一体での治水管理を

台風第19号は本市に甚大な被害をもたらした。

合併前の自治体ごとの治水ではなく、栃木市全体として流域ごとに治水を考え、実施していくことは喫緊の課題であり、皆がそうした考えに立つことが必要だ。

本市では中小河川・支川まで含めてほとんどが県の河川管理領域だが、市もこれまで以上に県と連携を図りながら、一体的な治水管理を行う必要があると考えるが、執行部の見解を伺う。

答弁 國保建設部長

国及び県と協議・調整を進めていく

巴波川や永野川を中心とした巴波川圏域や、思川圏域などでは、近年の異常気象の発生を受け、河川計

- 治水システムの再構築を
- 復興担当部署の新設を
- 早期の災害復旧を
- 来るべき災害に備えて
- 高水敷に水が上がった際の安全性

画等の検証が必要と考えている。

これらの河川圏域の検討の中でも、規模の小さい中小河川についても、市街地の中で溢水等の浸水被害を発生させている状況を考慮すると、中小河川の流下能力の向上とともに、河川への流入量の軽減を図ることも重要であると考える。

今後、それぞれの河川圏域について、河川堤防の強化や、雨量に対する流出量の調整方法の検討など、治水能力の高い河川整備に向け、国及び県と密に連携し、協議・調整を進めていく。



【会派代表質問】

無会派

●梅澤 米満 議員

本市でも全国的に普及が進む
田んぼダムの推進を

水害の発生を抑えることができる田んぼダムは、田んぼの排水を一時的に絞り、雨水をためるシステムである。既存の田んぼを利用したの治水対策となり、少ない予算で対応できる。栃木市を水害から守るには、田んぼダムは不可欠だと考えるが、市として推進すべきではないか。

また、市内の11土地改良区の中には、既に導入に向けて検討しているところもある。そのような土地改良区を支援すべきではないか。

【答弁】 福原産業振興部長

有効性や財源、整備手法も含めて
検討していく

本年8月に田んぼダムを含めた広域的な排水対策について検討す

- 河川の強化
- 災害に強いまちづくり
- 農地の機能の強化

ることを目的に、県と小山市、栃木市による「栃木市・小山市広域排水対策推進連絡会議」を設置した。

今後、この連絡会議では各機関が行う排水対策について情報共有を図るとともに、排水対策の整備実施について協議をしていく予定である。

なお、小山市では、現在、田んぼダムの効果については検証中のことであるので、本連絡会議において小山市と情報交換をしながら、有効性や財源、整備手法も含めて田んぼダムの活用について検討していく。

また、土地改良区に対しては補助金の交付と合わせて、必要な事務的支援を行っていく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



一級河川永野川の管理責任は、
国と県にある

台風第19号は市民生活に甚大な被害を及ぼした。最大の要因は、一級河川永野川の決壊である。

原因者負担は社会の常識で、管理責任を国、県に求めるべきである。

12月6日、国への要望活動に出かけるようだが、「お願い」ではだめだ。市民に寄り添うのであれば、国、県の管理責任を訴えるべきである。

【答弁】 大川市長

今まで以上に力を入れるよう、
国に対して要望していく

市民の生命・財産を守り、安全で安心できる市民生活を確保することは、まちづくりにおいて最も優先されるべきものである。

そこで、今年度から次年度にか



針谷 育造 議員
創志会

- 栃木市総合計画・後期計画
- 令和2年度予算編成方針
- 栃木シティフットボールクラブ

けて、人命を守り、経済への被害を致命的なものにとせず、迅速な回復が可能となるシステムを平時から構築する、栃木市版「国土強靱化地域計画」を策定するため、今回の12月補正予算案に事業費を計上した。

また、防災・減災対策には、国や県との連携・協力が欠かせないことから、先月の20日にも国土交通省等への要望活動を行ったところであるが、防災・減災については、今まで以上に力を入れていただけるよう、国に対して今後も要望していく。



一級河川三杉川の決壊現場



広瀬 義明 議員
無会派

見せるために作った動画
見てもらう努力を求める

栃木市のPR動画数は少なくない。にもかかわらず、周知されていないのが現状ではないか。

一貫したコンセプトもなく、作成した動画をHP等にアップして終わりではなく、紙ベース以外にもある周知方法によって、動画の存在をアピールしなければ作成予算が無駄になる。

費用対効果を考え、様々な体制を整え、PR動画の活用方法を検討すべきであると考ええる。

答弁 小保方総合政策部長

全庁的な体制づくりに
取り組んでいる

現在、庁内の各部署で、それぞれの事業目的に応じた動画が多く

○栃木市の消防力
●栃木市PR動画事業

制作されるようになってきたことから、YouTubeのアカウントを一つに集約して公開するように作業を進めている。

また、観光PRや移住促進のイベントで、他の部署が作成した本市のPR動画を放映するなどの取り組みも始めた。

さらに、「第2期栃木市シティプロモーション行動計画」に掲げた事業のPRを目的として制作する動画の中に、シティブロモーションのキャッチフレーズ「あるが嬉しいゆるやか栃木市」のロゴマークや、とち介のデザイン挿入をルール化する方針であり、市として統一感のあるシティブロモーションの展開と、全庁的なシティブロモーションの体制づくりに取り組んでいる。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



古沢ちい子 議員
公明党議員会

虐待関係などへの対応状況と
支援体制の強化は

深刻な児童虐待が後を絶たず、全国の児童相談所において、虐待に関する相談件数も増加を続けているが、本市の実態とその対応を伺う。

また個別対応により問題が長期化する中、現在の支援相談員体制で充分とはいえない。

さらなる体制強化に取り組むべきと考えますが、執行部の考えを伺う。

答弁 高橋こども未来部長

さらなる相談支援体制と
専門性の強化を図っていく

本市の児童虐待等の対応状況は、保護者に監護させることが不適当と認められる場合に実施される「児童福祉施設措置」の件数が、年間40件から50件で推移して

●児童虐待防止のための取り組み
○栃木市いのちを支える自殺対策計画
○ネーミングライツ事業

いる。

また、児童の生活習慣や経済的な問題などの相談件数は延べ4000件前後で推移しており、そのうち、虐待に関する相談は、平成28年度及び29年度は年間延べ約630件であったが、平成30年度は延べ983件と大幅に増加した。

さらに、養育支援家庭訪問事業などでは、相談件数の増加に加え、問題が複雑化・深刻化しており、保健師などの専門的な職員の配置についても課題となっている。

このような中、国では児童相談所及び市町村の体制整備と専門性の強化を掲げ、令和4年度までに、全ての市町村に「子ども家庭総合支援拠点」を設置することとしており、本市においても、「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向け、現在、調整を行っている。今後さらなる相談支援体制と専門性の強化を図っていく。



入野登志子 議員
公明党議員会

健康保険証導入に向けての
取り組みは

国は、マイナンバーカードを2021年3月に健康保険証として使えるようにし、2022年度中には、全国のほぼ全ての医療機関が対応するシステムの整備を支援し、ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有すると想定している。

市は、マイナンバーカードの健康保険証導入に向けての取り組みに対して、どのように周知を考えているのか伺う。

答弁 橘生活環境部長

保険証更新時にチラシ等を同封し、
周知を図る

マイナンバーカードを健康保険証として利用できる「オンライン資格確認」については、2021

- 「プラごみゼロ宣言」
- マイナンバーの普及

年3月から本格運用される予定となつていことから、広報とちぎや市のホームページにより、広く制度をPRしていく。

なお、国民健康保険被保険者については、全世帯に対し、来年8月の保険証更新時にチラシ等を同封し、周知を図り、後期高齢者医療被保険者についても、栃木県後期高齢者医療広域連合に対し、同様の対応を要請していく。

マイナンバーカードの健康保険証利用は、将来における正確な診療・医療データの基盤ともなるものであることから、わかりやすい周知広報に努め、カードの取得促進に取り組んでいく。



マイナンバーカード (見本)

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



内海まさかず 議員
創志会

どのような方針で行うのか

未曾有の災害を受け、来年度の予算編成を見直さないとならないが、どのような方針で行うのか。特に不要不急の大型公共事業は、いくら有利な合併推進債が使えるといつても、借金には変わりない。

財政調整基金を約40億円切り崩している現状をみると、個人的には行つてほしい学校給食費の補助も見直しが必要ではないか。また、文化芸術館、子どもの遊び場なども同様である。今は災害からの復旧に全力を尽くす時であると考えるが、執行部の見解を伺う。

答弁 大川市長

必要性、費用対効果を十分検討し、
事業の見直しを行っていく

来年度の予算編成については、9月末に策定した予算編成方針を

- テレワーク事業及び地域おこし協力隊離脱問題
- 市と民間事業者との関係
- 来年度の予算編成

基本とするが、今回の台風被害により、方針策定時と現在とは状況が大きく変わっている。

現状としては、復旧・復興を最優先と捉え、被災者支援と災害復旧に全力で取り組んでおり、既に多額の財政負担が生じていることに加え、今後もさらなる負担が想定される。

このような状況を踏まえ、既存の事業及び新規に予定していた事業について、その必要性、費用対効果を十分検討し、見直しを行っていく。





浅野 貴之 議員
誠心

口腔内の健康を守るために 早期の開設を

休日歯科診療事業については、昨年9月の定例会で質問をした。当時は、拠点整備と輪番制の比較や予算規模、費用対効果などを検討する旨の答弁があった。下都賀歯科医師会からの要望や本市の自治体規模、近隣自治体との比較から、休日歯科診療事業を開始すべきと考えるが、来年度の方針について伺う。

答弁 藤田保健福祉部長

輪番制による実施に向けて 協議を進めている

本市としても、休日歯科診療の重要性を認識しているが、休日歯科診療所の開設には場所の選定や確保、設備の整備など様々な課題があり、すぐに診療所を設けて実

●休日歯科診療事業の開始
○健康生活を守る取り組み

施することは難しい状況にある。

しかしながら、お盆休みや年末年始等の長期休暇中については、診療を実施している歯科医院が市内にないことから、休日歯科診療の必要性は高いと考えている。

このため来年度から、お盆休みや年末年始等、長期休暇中の輪番制による実施に向けて、下都賀歯科医師会と協議を進めているところである。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



川上 均 議員
日本共産党栃木市議団

区画整理事業は災害対策を 最優先に進めるべき

磯山地区の区画整理を行う区域の北側には、赤津川が急カーブで入り込み、大雨が降ればあふれてしまう。

事業を進めるにしても、今回の台風被害を踏まえ、災害対策を最優先して進めるべきである。

地域の皆さんの様々な意見、思いもあることから、住民との意見交換を十分に行い、事業を進めるべきと思うが、市の見解を伺う。

答弁 南斉副市長

関係権利者の意向を確認し、 事業の進め方を慎重に検討する

磯山地区は永野川と赤津川に挟まれ、関東・東北豪雨時に周辺地域において浸水被害が発生している。

●大平町真弓、磯山地区の
土地区画整理事業
○西山田地区と小野口・
小野寺地区の土砂埋め立て
○高齢者の問題と対策、いわゆる「終活」

今回の台風第19号による浸水被害も、永野川の水位の上昇により内水の排水処理が困難となったことや、赤津川の氾濫、さらにはJR両毛線鉄橋付近において堤防が決壊し、大量の水が流れ込んだことが磯山地域全体に被害を拡大させた最大の原因と考えている。

来年度から事業を実施する計画であるが、今回、施行区域内の一部で被害が発生していることから、今後準備会において、関係権利者の意向を確認した上で、事業の進め方を慎重に検討していく。



磯山地区の赤津川

**要望を踏まえ、
持続可能な公共交通の運営を**



小堀 良江 議員
栃木未来

2020年にふれあいバス・蔵タクの運賃や運行ルート等が変更される。

アンケートの結果や、まちづくり懇談会ふれあいトーク等で見直された要望等を踏まえた見直しはされたのか。また、どのようなところを見直したのか。さらには、この見直しによってどのようなことが期待できるのか、市の考えを伺う。

答弁 橘生活環境部長

**利便性の向上を図り、
利用者の増加につなげたい**

ふれあいバスでは、行先や運行ルートのわかりやすさ、乗り入れの要望などを踏まえ、路線設定や運行ルートを見直すとともに、利

- 道路交通法の改正
- ふれあいバス及び蔵タク
- 寺尾地区のまちづくり

用状況や要望を踏まえたダイヤの見直しを行った。

また、蔵タクでは、ふれあいバスとの乗り継ぎによる運賃割引制度を設け、長距離利用者にもふれあいバスへの転換を促すことにより、運行の効率化を図り、予約の取りやすさの向上を図ることとした。

この他にも、市内一律運賃や高齢者の割引、小学生の無料化、バスロケーションシステムの導入など、利用しやすさ、わかりやすさに重点を置いた見直しにより、利用者の利便性の向上を図り、利用増が期待できる。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



▶ 市内施設8カ所を現地視察しました

本市議会においては、議員力のさらなる向上を図るため様々な取り組みや検討を行っており、昨年の10月7日、各地域で実施や計画されている行政施設整備等の現地視察を行い、事業への理解や議員間の情報の共有化を図りました。

○視察先

- ・ 北部健康福祉センター
- ・ 都賀総合支所建設予定地
- ・ ヤマサ味噌工場跡
- ・ 渡良瀬遊水地（ハートランド城）
- ・ 西前原排水機場
- ・ いわふねフルーツパーク
- ・ 県青少年研修施設予定地
- ・ 栃木シティFC練習場、スタジアム建設候補地



完成が待たれる北部健康福祉センター

▶ 災害に関する補正予算等を全会一致で可決(11月臨時会)



議員・執行部ともに防災服で臨みました

11月臨時会では、先の台風第19号に伴う大雨被害に対する数多くの支援策を実施するための補正予算等が可決されました。

執行部に対しては、補正予算等に計上された事業のスムーズな実施に万全を期して取り組んでいただき、被災された方々に対しまして、きめ細やかな支援がなされるよう、要望いたしました。

議会においても引き続き、災害からの復旧・復興支援に取り組んでまいります。

▶ この難局を乗り越えるために(台風第19号による大雨被害に関する決議文)

先の11月臨時会において、災害の早期復旧等に向けて下記の事項に留意して取り組むよう、執行部に強く求める決議文を提出いたしました。議会においても執行部との連携・協力のもと、全力を挙げてこの難局を乗り切ってまいります。

- 1 被災された市民が1日でも早く以前の生活を取り戻せるよう、復旧支援に取り組むこと。
- 2 市内の農業、工業、商業等の産業活動の復旧支援に取り組むこと。
- 3 各種復旧支援について、国や県等関係機関に働きかけること。
- 4 災害対応等について検証し、防災対策の強化に取り組むこと。
- 5 災害に強いまちづくりに向けて、より一層取り組みを強化すること。



表紙の写真

復興に向けて「ONE TEAM」

台風第19号により甚大な被害を受けた本市の復興に向け、12月議会では議員の心を一つにして、復興支援に真剣に取り組むことを改めて決意いたしました。

ONE TEAM 栃木市として力を合わせ、この未曾有の危機を乗り越え、より強い、より素晴らしい栃木市を作ってまいります。

被災を受けた皆様に心よりお見舞いを申し上げ、議会の決意と思いを込めた表紙写真とさせていただきます。



「ONE TEAM 栃木市議会」

(表紙担当：大浦委員、撮影協力：古澤悦夫 写真アドバイザー)



モニターインタビュー (No.15)

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。(今回のインタビュアー：内海委員)



議会広報紙モニター 竹山 訓子さん

Q：東京から移住されてきて、栃木市の印象はどうですか

A：自然豊かでゆったりとしていて、子育てしやすい環境ですね。私の周りでは都市部にありがちなギスギスした人間関係がなく、外部からの人も受け入れてくれる温かい方が多いと思います。引っ越してきて正解だったと思います。

Q：子育てをされていて思うところを教えてください

A：田舎暮らしの本で子育て世代ナンバー1になりましたが、もっと子育て政策を充実してほしいと思います。期待していた給食費無料化もなぜできなかったのか。残念ですね。

Q：栃木市に対し期待することはありますか

A：今回、災害を目の当たりにして防災対策は必要だと思いました。また、都市部から人を呼ぶには生活インフラの拡充が必要ではないでしょうか。農村部にも下水道を通してほしいと思います。

3月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21	22
				新聞折込	本会議 議案等提案	
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 『一般質問』			
3/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 『一般質問』	常任委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)				
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
		予算特別委員会 会派代表質疑 分科会長報告				
22	23	24	25	26	27	28
		本会議 議案等採決				

予算特別委員会も傍聴できますので、ぜひお越しください。

傍聴にお越しください

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、2月20日(木)に新聞折り込みを予定しています。

オレンジ色の新聞折り込みチラシ裏面の「一般質問」をチェックしてください。身近な話題があるかもしれません。

ぜひ、本会議の傍聴にお越しください!

12月定例会の傍聴者は...

延べ178人でした。

栃木市議会広報委員会

12月議会は台風第19号による被災直後の定例会となりました。

一般質問においては、災害関係の質問が多数行われることが想定されたため、災害に関する一般質問は、会派で代表質問を行うという変則的な議会運営を行いました。

災害時には今までの慣習にとらわれず、臨機応変に対応しようと、議会と市長をはじめとする執行部が連携できた結果だと思います。

議会と執行部は互いに緊張関係を保ちながらも、協力すべき時は協力し、今後も市政の発展につなげてまいります。

(内海まさかず記)

委員長 福富善明
副委員長 浅野貴之
委員 小平啓佑
川上均
大浦兼政
古沢ちい子
内海まさかず
関口孫一郎
梅澤米満
鯉沼孝雄
古澤悦夫

写真アドバイザー

古澤悦夫

議会だよりは目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが音声テープを作成しております。ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。<TEL:0282-21-2505>